

仙台マンドリンクラブ「90年のあゆみ」

大正 13 年	澤口忠左衛門を中心に、「アルモニア・マンドリングループ」が結成される。
大正 15 年	第 1 回演奏会（仙台市公会堂）。
昭和 2 年	澤口により「仙台アルモニア」が創立される (春／秋の定期演奏会、JOHK仙台中央放送局ラジオ放送、研究誌楽譜の出版など)。
昭和 6 年 6 月	中野二郎氏を迎へ、創立 5 周年記念演奏会を行う（東北帝国大学法文講堂）。
昭和 8 年 8 月	服部正氏の慶應義塾マンドリンクラブと合同演奏会を行う（仙台市公会堂）。
昭和 17 年	名称を「仙台マンドリンクラブ」と改める。
昭和 17 年 11 月	戦前最後の演奏会を行う（仙台齋藤報恩会講堂）。
昭和 19 年	戦争のため自然休会となる。この間 JOHK仙台中央放送局で 3 回出演。
昭和 21 年 1 月	澤口忠左衛門逝去。 クラブ員の復員により練習が再開される。
昭和 25 年 4 月	会の名称を「アルモニア・ビアンカア・マンドリンオーケストラ」に改め、代表責任者に伊藤政次、専任指揮者に渡辺稔氏を迎える。 常任運営者に米山晴夫。
昭和 25 年 5 月	NHK仙台中央放送局ラジオに出演。
昭和 25 年 7 月	同上。
昭和 26 年	渡辺氏引退。会の名称を「仙台マンドリンクラブ」と改め、専任指揮者に柴山猛夫。
昭和 27 年 10 月	塩釜公民館主催「秋のマンドリン・ギターの夜」出演。
昭和 28 年 5 月	NHK仙台中央放送局ラジオに出演。
昭和 28 年 10 月	塩釜公民館主催「秋のマンドリン・ギターの夜」出演。
昭和 29 年 7 月	専任指揮者に高橋功を迎える。
昭和 30 年 4 月	専任指揮者柴山猛夫、離仙。
昭和 31 年 7 月	NHK仙台中央放送局ラジオに出演。 比留間マンドリン・アンサンブルと合同演奏会を行う（朴沢学園講堂）。
昭和 31 年 9 月	NHK仙台中央放送局ラジオに出演。
昭和 32 年 4 月	同上。
昭和 32 年 10 月	同上。
昭和 33 年	専任指揮者高橋功、アフリカ・シュバイツァー博士のもとに医療活動のため渡航、常任運営者に米山晴夫、指揮者に米山晴夫・稻垣孝次。
昭和 37 年 4 月	東北放送テレビ出演。
昭和 40 年 6 月	同上。
昭和 40 年 12 月	クラブに在籍の東北大学学生により「東北大学マンドリンクラブ」が結成される。
昭和 41 年 5 月	伊藤氏引退。主宰者に稻垣孝次。 会員の高橋五郎氏が退会し、「チルコロ・マンドリニスティコ・フローラ」を結成、演奏活動に入る。 会員の三春碑氏が退会し、「アニーマ・マンドリンアンサンブル」を結成、演奏活動に入る。 若生智彦氏退会、ギタリストとして演奏活動に入る。